



第35回定期大会開催

運動方針を満場一致で決定!

JR四国労組は、7月11日・12日の両日、高松市「JRホテルクレメント高松」において、代議員、特別代議員、傍聴者等、約170名の参加の下、第35回定期大会を開催した。大会スローガンとして「新たな風で!さらなる未来へ!!」を掲げ、①安全・安定・安心輸送の確立②組織の強化・拡大③労働環境の改善を柱とした運動方針を満場一致で可決した。



ではないが、その変化を見据え、運動の原点を確かめ、労働組合の使命と役割を改めて認識し、ともに新たな一歩を踏み出して行こう」と訴えた。

議長団の杉本代議員(左)と河野代議員(右)

大会は、冒頭、4月に発生した九州大震災により亡くなられた方々に黙祷を捧げた後、浦川執行委員の開会挨拶で始まった。まず、大会準備委員長の本社支部池田書記長より歓迎の挨拶を受けた後、林資格審査委員長から代議員46名中、46名の出席が報告され、大会の成立が確認された。

大会には、連合四国ブロックを代表して連合香川進藤会長をはじめ、各界から多くの来賓がかけつけた。JR連合からは松岡会長に参加いただき、安全確立、民主化完遂、政策実現等、JR連合の運動方針に沿って問題提起がなされた。

議事では、執行部より、一般経過報告・決算報告が行われ、質疑応答に入った。初日は、3名の代議員から発言があり、執行部答弁の後、満場一致で経過、決算が承認された。続いて、平成28年度運動方針案及び予算案が提起され、第1日目を終了した。

第2日目は、午前9時より議事が再開され、29名の代議員より、運動方針に肉付けする活発な討論が行われた。各担当部による答弁の後、眞鍋書記長より総括答弁が行われ、運動方針及び予算が満場一致で承認された。

その後、弓立青年女性会議議長より大会宣言案が提起され、承認の後、JR四国労組の団結と更なる躍進を確認するため、中濱執行委員長長の「団結ガンパロー」で12時に終了した。

連合香川 龍男 会長
連合香川西地域協議会 石川 哲也 事務局長

四国交通労働協 井上 浩司 議長
国会議員 小川 淳也
衆議院議員 玉木 雄一郎
JR連合 松岡 裕次 会長
政所 大祐 政策部長
半井 真司 代表取締役社長
大嶋 和浩 総務部勤務課長
ジェイアール四国バス(株) 近藤 盛一 常務取締役総務部長
四国労働金庫 小川 俊 理事長
全労済香川県本部 宝田 公治 本部長
全国交通共済協 浅岡 秀幸 本部長
JR四国労組議員団 井上 洋一 団長
山本 悟史 副団長
江洲 土佐生 幹事長
退職者連絡会 西山 實紀 会長
(株)アイネスク 社長
落合 新 社長
JR四国労組顧問弁護士 大平 昇 弁護士
四国キヨスク労働組合 安部 剛 執行委員長
四万十の宿労働組合 高岡 和哲 執行委員長

祝電・メッセージ
JR北海道労働組合
ジェイアール
イーストユニオン
東海旅客鉄道労働組合
西日本旅客鉄道労働組合
九州旅客鉄道労働組合
日本貨物鉄道産業界労働組合
四国電力労働組合
日本私鉄労働組合
四国地方連合会
タダノ労働組合
日本郵政グループ
労働組合四国地方本部 (敬称略)

中濱執行委員長挨拶(要旨)
JR四国労組は、今年で創立50周年を迎えます。この50年、私たちは「安全・安定・安心輸送」を第一とし、労働者の権利を守り、社会に貢献してきました。これからも、労働者の声を大切にし、安全・安定・安心輸送の実現を目指してまいります。

安全・安定・安心輸送の確立について
私たちが輸送事業に従事する者にとって、「安全の確保」は最重要課題であり、尊い命を預かる重大な使命である。職場の最前線において、何よりも安全を最優先する「安全文化」を醸成しなければならぬ。

組織の強化・拡大について
私たちは組織結成以来、「一企業一組合」を目指し、組織の拡大に向け取り組んできた。その結果、組織率においては、現在92.2%となったが、今後、5年ほどでJNR組合員が去ることから、組織数は大きく減少する。よく「組織は数」と言われる。組織数が多い方が様々な面でメリットがあるからだろうか、しかし、数年後に状況が大きく変化することから「組織は質」という考え方が必要である。

労働環境の改善について
2016年春季生活闘争は、連合・JR連合の方針を踏まえ、賃金と労働条件の改善に向け、総合生活改善闘争としてベアにこだわりの併せて、レベルにおいて夏手当も同時に要求した。しかし、その結果、定期昇給は確保したもののベアの獲得には至らなかった。昨年訴えた初任給の改善や再雇用組合員の賃金改善など、将来に向けた一人ひとりの投資を訴えたが、会社との溝は埋まらなかった。今後、少子高齢化とともに労働力が減少し、取り巻く状況は厳しくなる。まさしく、組織の舵取りを、組織拡大と平行して、充実・強化へと進めなければならない。

対話行動は、4月に本部と意見交換する行事として定着してきた。その多くは、経協、団交において訴えているが、それまで現場管理者と組合員との意思疎通をいかに図ることが重要であると考えている。それから、エキスパート組合員の働き方については、働く場所の選択や職種・労働条件等について、会社と議論を進めてきた。考え方は少し前向きになってきたが、今のままではダメなので、働き方なのか賃金なのかの議論を深め、改善を求めることとして、年金満額支給開始年齢まで定められる制度にしたいと考える。ジェイアール四国バスは、運転手不足の解消や積極的な新車の導入、安全設備への投資等に取り組み、分社化以降最大の収益を上げ順調に推移している。

そこには、組合員の「安全・安定・安心輸送」への取り組みがある。更に魅力ある職場づくりに向け継続して取り組む。工務職場では、業務量が引き続き、厳しい状況にあるが、箇所により訴える内容に違いがあることから、その特徴を把握し、そこを踏まえた改善に向け取り組む。それから、修職場における外注先との業務移管や技術継承などについて、部会から答申があったので、その内容を踏まえ改善に向け取り組む。

最後に、あの国鉄改革から30年目を迎えた。改革時に支援された経営安定基金や三島特別措置は、今日まで地方の鉄道を支え、今後は市場の金利等によって左右されてしまうことから、将来の経営見通しが立てにくく、安定経営を維持することが困難な状況である。しかもこの税制特例措置は、5年間の時限立

法であり、平成28年度末に期限切れを迎える。この延長・恒久化に向け、組合員への署名活動や地方議会での意見書採択など、今できる全ての行動を実践したいと考えている。

また現在、「経営自立計画」の達成に向け労使で努力をしているが、将来にわたって四国は、鉄道網を維持するために、外部環境に大きく左右されない新たな経営支援スキームが必要であると考える。併せて、鉄道の高速化についてもその必要性和重要性について訴えている。

このことを実現するためには、まずは安全第一に、地域の人に愛され必要とされるバス・鉄道でなければならぬ。取り巻く環境は決して容易なものではないが、社会の変化を見据え、運動の原点を確かめ、職場で苦悩する全ての組合員のために労働組合の使命と役割を改めて認識し、ともに新たな一歩を踏み出して行くための意思統一をお願いしたいと考えている。

質疑討論(要旨)

兵藤 代議員 (愛媛支部)



平成28年3月期決算において、経営安定基金運用益が前年と比較し大幅な減少となっている。最近では英国のEU離脱による先物取引などの影響により、サーキットブレーカーが発動したと聞いている。平成28年度の業績予想においても、30億円

を超える経常赤字を見込んでいるが、EUの影響等により赤字幅が拡大するの、また対策があれば教えていただきたい。先日、早発事故が発生した。待避遅れの対策である列車見張り員支援システムがあれば対応できると考える。組合員の安全のために早期に導入されるよう要請する。

は認識しているようだが、要員不足を時間外労働で補っている部分があると感じている。会社は1人あたりの時間外労働時間をどの程度と考えているのか。また、時間外労働をせざるを得ない状況の中、大洲駐在在勤組合員の松山までの特急バスが更新されなかった。乗車時間が1時間30分を基準にしているというが、確かに指定された列車であれば約1時間25分で松山に帰る約1時間25分が、しかし、時間外労働により、必ずしも指定された列車に乗り込めるとは限らず、後続列車であれば、1時間30分を超えてしまう。また、退勤から発車時間まで12分と短いことから改善をいただきたい。

長濱 代議員 (徳島支部)



昨年度、退避不良に伴う非常事態宣言が出された。今年度になり解除されたが、5分前退避の徹底に努めている。しかし、先日10分早発する事故が発生した。幸いその区間で作業が行われていたため、重大事故には至らなかったものの、関係会社等への退避の指導が

不安となった。ハード対策、組合の意見、会社の回答があれば教えていただきたい。総合労働協約改訂について、労働時間の短縮とあるが、純粋に労働時間を減らすという考え方でいいのか。その場合、超過勤務を助長する恐れがある。解決にはならないと考える。実施するのであれば、職場の人員の増員も含めて検討していただきたい。

工務の業務用自動車について、走行距離が20万キロを超えたものも多く冷房機能等も満足に働かない車がある中、1台のWキヤブが新車に置き替わった。しかし、非常に乗り心地が悪く長距離移動の際、体への負担が大きいため、改善するよう要請する。

嶋田 副委員長



経営安定基金運用益については、平成27年度が極端に悪かった訳ではなく、平成26年度の数字が想定以上に良かったと捉えていただきた。今後は、英国のEU離脱に伴う金融市場の動揺等もあり、決して楽観視できない状況ではないと考えている。平成28年度は大幅な経常赤字を計画しているが、組合としても、少しでも改善できるように増収等の協力を要請したい。退避遅れ防止については、GPS等を活用した列車接近装置や警報装置など、ハード面での支援装置の導入を従前より求めていた。会社からは、その装置に頼り切ってしまう、故障時等に逆に危険性が増すこと等を危惧

しており、信頼性や精度についてJR他社の事例を参考に勉強中であるという回答が続いている。本日は、会社の慎重な姿勢は理解するものの、支援装置はあくまでも補完的な位置付けであるとの認識の下、支援装置の導入を引き続き求めていきたい。

時間外労働について、作業計画段階において超過勤務ありきの計画は組まないと考えているが、平成31年度までの間は支援策等により業務量が増加することが想定される。現在も厳しい要員需給の中、中途採用・助勤・逆方向・嘱託雇用など、会社でもできる限り要員を確保するための施策を打っており、今は体力の限界だと考える。時間外労働の実績は会社と意見交換を行いながら、本部としても定期的にチェックしている。併せて、やむを得ず時間外労働が発生するのであれば、一個人に集中するのではなく、時期も含めて平準化するよう求めており、引き続き、チェックするのと同時に、時間外労働の削減は訴えていきたい。

正岡 代議員 (愛媛支部)

特急バスの特認については、その性質上、一定の線引きが必要であると考える。全体の緩和については、必要性については、今後検討させていただきたい。また、各職場において退勤から乗車までの時間が現状に合致したのか、会社に確認したい。労働時間の短縮については、連合の中期時短方針に則り、総合労働協約改訂交渉時に申し入れからする。現状の会社入力からするという回答ではあるが、引き続き、会社の体力も勘案しながら改善を申し入れていきたい。

ことから、助勤等も活用しながら対応していきたいとの回答を得ている。工務職場においては、箇所により訴える内容に違いがあるため、内容を把握・精査し、改善に向け取り組んでいく。

業務用自動車の補充については、早急に改善するよう取り組んでいく。また、自動車事故防止対策として、ドライブレコーダーやモービルアイ等、安全支援装置を設置するよう求めている。

こと、特に問題なく試行されていると考える。その上で、更に業務拡大や他管理駅においても実施することで定年退職後の雇用の拡大・安定につながるかと考えるが、今後、業務委託を拡大する計画があるのか教えていただきたい。

現在、添乗業務については、超勤手当、夜勤手当が支給されていない。現状及び過去の実態調査のうえ、添乗における勤務、拘束時間を具体的に明示し正当な賃金を支給すべきである。また、添乗業務は貸切バスや夕食時等、お客様の対応が非常に大変である。現在の添乗旅費では、割に合わない部分もあるため、増額及び添乗手当の新設を要請する。

土井 代議員 (香川支部)



看護休暇について、年間の取得率を教えていただきたい。また、男女平等参画や育児支援の観点から、看護休暇の対象となる子の対象年齢の引き上げ及び制度取得促進のためにも、有給休暇となるよう改善を要請する。JR西日本において、事故の発生を招いた人為的ミス、ヒューマンエラーを起した乗務員等を懲戒処分やマイナス評価の対象とした制度ができた。JR連合松岡会長もこのような取り組みがJR他社にも広がっていくことを期待している、と述べているが、本部は四国においても取り組むべきと考えているのか教えていただきたい。今年度末には税制特例措置が期限切れを迎えるが、どのような取り組みを行っているのか教えていただきたい。

なり、特に問題なく試行されていると考える。その上で、更に業務拡大や他管理駅においても実施することで定年退職後の雇用の拡大・安定につながるかと考えるが、今後、業務委託を拡大する計画があるのか教えていただきたい。

現在、添乗業務については、超勤手当、夜勤手当が支給されていない。現状及び過去の実態調査のうえ、添乗における勤務、拘束時間を具体的に明示し正当な賃金を支給すべきである。また、添乗業務は貸切バスや夕食時等、お客様の対応が非常に大変である。現在の添乗旅費では、割に合わない部分もあるため、増額及び添乗手当の新設を要請する。

るが、ハード対策が構築されてから運用するのが順序であると考えている。また、複線区間でのワンマン運転は早急に廃止すべきである。また、単線区間のワンマン運転について、経営状況からワンマン化は必要であると考えるが、時間帯や利用状況をもう少し分析すべきである。

今年6月に土讃線阿波池田〜三津間において倒木被害が発生した。幸い負傷者は出なかったものの、車両の損傷や長時間にわたる列車の抑止させた事象となった。お客様に安心して利用していただくためには、点検強化や老朽化した沿線樹木の伐採など対応策が必要であると考える。

武政 代議員 (高知支部)

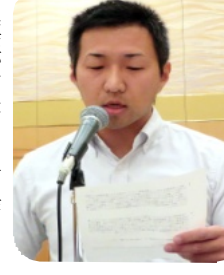


今年6月に土讃線阿波池田〜三津間において倒木被害が発生した。幸い負傷者は出なかったものの、車両の損傷や長時間にわたる列車の抑止させた事象となった。お客様に安心して利用していただくためには、点検強化や老朽化した沿線樹木の伐採など対応策が必要であると考える。

可能性があることから、早急に耐震状況を確認するとともに対応を要請する。

運転士登用を前提とした契約社員車掌について、契約上、運転士になれなかった場合は社員にもならず、契約更新もされないことは理解しているが、病気など自分の意思とは異なる理由により運転士を目指すことが不可能となった場合には、その他の職種の契約社員として雇われ、社員登用試験を目指すことのできる枠組みも必要であると考える。

森 代議員 (愛媛支部)



今年6月に土讃線阿波池田〜三津間において倒木被害が発生した。幸い負傷者は出なかったものの、車両の損傷や長時間にわたる列車の抑止させた事象となった。お客様に安心して利用していただくためには、点検強化や老朽化した沿線樹木の伐採など対応策が必要であると考える。

嶋田副委員長

JR西日本の非懲戒の導入事例から事故件数が減少したことを受け、

福知山線列車事故以降、更なる報告文化を醸成させようとして西日本会社は取り組んできた。そして今回、安全確保に向け研究を進める専門機関等で検討し、この制度を確立したと聞いている。しかし、非懲戒とするか否か、その線引きが非常に難しく、故意、悪意の有無は専門の委員会において判断すると聞いている。また、非懲戒にすることにより、業務の特殊性や責任感が薄れていく恐れもあると危惧される。JR四国においてヒューマンエラーが発生した場合、その内容により判断は、一時的に業務から外す等の対応をされている。それは決して懲罰的なものではなく、本人の精神面等を考慮してのことだと組合も判断しており、現行の取り扱いが特段問題ないと考えている。

高松駅管理業務の部外委託について、この間大きな問題は発生していないという回答を得ている。今後の拡大については現在試行中であるため、業務内容、異常時対応、他管理駅への拡充等を含め検討している段階であり、現時点で具体的な時期等については会社からの回答は得ていない。もしばらく高松管理駅での試行状況をみて検討すると会社は考えている。

添乗旅費については、過去、会社から同業他社の状況等を勘案しながら改訂された経緯がある。その後も交渉において、会社とかなり議論したが改善には至らなかった。添乗業務全てを勤務に見なすかどうかは、判断が難しい部分もあると認識している。総合労働協約改訂において諸制度の改訂、諸手当の増額をどのように求めていくかは議論していき、多度津駅の跨線橋工事の関係で線路や架線撤去が想定される。現在、高

松運転所構内においても工事が施工されているが、会社には工事内容や計画図面をできるだけ早く現場に周知するよう申し入れている。安全面での問題があれば、本面に連絡していただきたい。

複線区間でのワンマン運転は、組合としても、ハード対策が構築されてから実施すべきであると考えている。現在、ホーム検知装置については、試験運転を実施している。検知装置も含め、早急に整備するように、引き続き、訴えていく。



現在、JR四国が受けている税制特例措置（三島特例・承継特例）が平成29年3月で期限切れとなる。これらの支援措置の恒久化となり延長を求める取組も必要であると考えており、会社には改良を求めている。また、新型特急気動車も同様、このシステムの採用は問題があると訴えている。

沿線樹木の支障については、工務部の方の巡回強化をお願いしながら、先手先手で対策を講じていくように会社に要請していきたい。

老朽建物については、優先順位を付けて撤去や耐震補強をしていると認識している。今後も順次対策をしていくと思われる。運転士登用を前提とした契約社員車掌が、運転士として乗務するにできない病気等により乗務不可となった場合、現行の契約上、雇用更新されないことはやむを得ないと考える。なお、治癒可能な病気やケガについては、会社も柔軟に対応している。会社も柔軟に対応している。

老朽建物については、優先順位を付けて撤去や耐震補強をしていると認識している。今後も順次対策をしていくと思われる。運転士登用を前提とした契約社員車掌が、運転士として乗務するにできない病気等により乗務不可となった場合、現行の契約上、雇用更新されないことはやむを得ないと考える。なお、治癒可能な病気やケガについては、会社も柔軟に対応している。会社も柔軟に対応している。

老朽建物については、優先順位を付けて撤去や耐震補強をしていると認識している。今後も順次対策をしていくと思われる。運転士登用を前提とした契約社員車掌が、運転士として乗務するにできない病気等により乗務不可となった場合、現行の契約上、雇用更新されないことはやむを得ないと考える。なお、治癒可能な病気やケガについては、会社も柔軟に対応している。会社も柔軟に対応している。

老朽建物については、優先順位を付けて撤去や耐震補強をしていると認識している。今後も順次対策をしていくと思われる。運転士登用を前提とした契約社員車掌が、運転士として乗務するにできない病気等により乗務不可となった場合、現行の契約上、雇用更新されないことはやむを得ないと考える。なお、治癒可能な病気やケガについては、会社も柔軟に対応している。会社も柔軟に対応している。

老朽建物については、優先順位を付けて撤去や耐震補強をしていると認識している。今後も順次対策をしていくと思われる。運転士登用を前提とした契約社員車掌が、運転士として乗務するにできない病気等により乗務不可となった場合、現行の契約上、雇用更新されないことはやむを得ないと考える。なお、治癒可能な病気やケガについては、会社も柔軟に対応している。会社も柔軟に対応している。

引き続き、看護休暇の引き続き、看護休暇の支給とあわせ育児休暇、看護休暇、育児短時間勤務の対象となる子の対象年齢引き上げや、男女とも取得しやすい制度となるよう、改善を求め取り組んでいく。



浦川 執行委員

浦川 執行委員

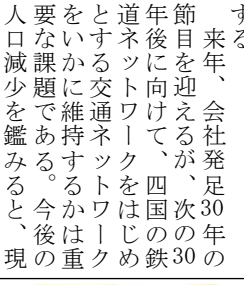
浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員



浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員



浦川 執行委員

浦川 執行委員

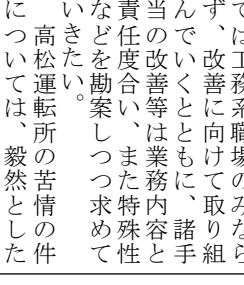
浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員



浦川 執行委員

浦川 執行委員

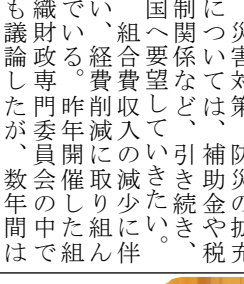
浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員



浦川 執行委員

浦川 執行委員

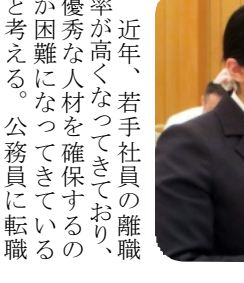
浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員



浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員



浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

浦川 執行委員

多客輸送期間において、増結が想定されるのであれば、ホームの嵩上げや延伸等の対策を要請する。

嶋田 副委員長

乗務員職場に限らず、各職場において要員が不足しているのが現状である。会社の経営体力などを勘案すると、直ぐに改善されるのは困難と考えるが、引き続き、適正な要員確保に向けて訴えていく。

客室乗務員については、当初3年程度で整理する計画であったが未だにできていない状況であり、原因は客室乗務員の要員不足にあると考える。採用回数を年4回に増やすとあるが、この間の状況を判断すると行路数の縮小が実効的と考える。経営協議会の中でも、要員に見合った行路数にすべからず訴えており、会社からは検討するという回答を得ている。現場への移管についても検討中との回答があった。引き続き、協議していききたい。

臨時列車運行等の波動的影響により要員が必要な場合は、他区所からの助働等により臨機応変に対応するよう従前から申し入れていく。引き続き、改善に向け取り組んでいく。

保有車両数については、ダイヤ改正毎に所属箇所の変更等も行いながら限られた車両数の中で効率的に運用している。車両数を増やすことは経費もかかることから、今の会社の体力では困難と考えるが、列車運行体系に見合った適正な車両数の確保は訴え続けていく。安全上、ホームの嵩上げ・延伸は必要であると考えており、会社に訴えているが、莫大な経費がかかる内容であることから早急な改善は困難な状態であるとの回答である。編成両数によりドア締め切り扱いが発生する場合

は、安全を最優先し、焦ることなく確実な作業を心がけていただきたい。賃金改善については、一部の年齢層のみベールアップ要求という考えはない。しかし、今後、新規採用が困難になってくることも想定されることから、初任給の改善を求めている。

浦川 執行委員

公務員や家業に専念するために離職するのは、一定程度仕方ないと考えている。しかしながら、職場環境等が理由で離職している組合員については、各級機関役員・組合員がフオーアアップし、問題解決することにより事前に食い止める取り組みをお願いしたい。組合としては新規採用者が配属される際に、一人ではなく複数名で配属させ、同期で相談できる環境を整えるよう会社に申し入れている。

**中内 特別代議員
(愛媛支部青女)**



青年女性会議として、未来の四国の公共交通を維持していくためには四国新幹線は必ず必要だと考える。議案書の運動方針に、鉄道の高速度実現には引き続き地元における機運の醸成が重要とあり、本部として具体的な取り組みの教示を求めている。また、各種集会等で高速鉄道導入の必要性を訴えるところがあるが、具体的などのような方針を教示していただきたい。私自身、四国新幹線に関するシンポジウムに何回か参加したが、参加者の

年代に偏りがあり、特に若手の中では温度差が感じられ、青年女性会議として支部や分会で四国新幹線について議論し、周知することを心がけているが、機会が少なく限界がある。そこで組合としてもユニオンスクールの場などで議論する機会を設けていただくよう要請する。組合としても機運の醸成に努めるのはもちろん、会社でも社員に対して、四国新幹線の正しい知識をしっかりと教育していく風土を作るよう組合からの働きかけを要請する。

**三好 代議員
(本社支部)**



現在、ノーマル残業デーの徹底が全社的な取り組みとなっており、仕事にメリハリをつけて定時退社することに賛同している。しかし、ノーマル残業を以外に遅くまで残業をしたり、休日に出社する人を見かける。適切な業務管理、超勤管理をすべきであると考える。

現在、契約社員には年間12枚の購入券が支給されている。社員との不公平感正すためにも購入券の増付を要請する。

**高島 特別代議員
(本社支部青女)**



男女平等参画の観点からも、男女がともに働き

続けていくうえでの制度、設備の整備が必要不可欠であると考え。結婚や出産後も働き続けることができるような制度や職種の拡充など、具体的に託児所の設置、短時間勤務制度の拡大、育児休暇取得に伴う昇給の取り扱い改善、女性用設備の整備等の改善に向け取り組むよう要請する。また、社員に対して会社情報を提供できるシステム等があれば、休職中も孤独を感じないし考える。今後女性も納得して働く環境づくりに本気で取り組む時期にきていけると感じている。引き続きの取り組みを要請する。

眞鍋 書記長

10月に四国で開催するJR連合の政策シンポジウムが機運の醸成を図る取り組みのひとつであり、JR四国の取り組みを全国のJR連合の仲間とアピールする良い機会だと考えている。ぜひ、組合員の皆様にも多数参加していただきたい。

高速鉄道の必要性については、「四国の鉄道を国において、国会議員に訴えている」とともに、国土交通省への要請行動を展開している。また、定期的に開催されているJR連合政策委員会やあらゆる場において訴えている。ユニオンスクールを中心とする教育活動の中でも政策についての講義を行っている。その中で、四国の鉄道高速化の必要性については講義を行っており、各世代において共通認識を持つよう取り組んでいる。

嶋田 副委員長

働き方改革については、各部署において意思統一を図りながら取り組んでいると認識し、休日出勤し、どうしても休日出勤せざるを得ない場合、

申告によりそれが適切と判断されるのであれば、その就業に対する超勤手当は支払われべきであり、適正な超勤管理ができると考える。

幸 執行委員

4月に女性活躍推進法が施行され、JR四国においても採用者における女性割合を20%以上にするという行動計画を策定したこと、今後、女性が増えることとなる。従前より、定年退職まで働き続けられる職場・職種・制度等の整備を訴えてきた。引き続き、退職まで働き続けられる環境を整備されるよう取り組み、託児所の設置、休職者に対してシステムを活用しての情報開示については、会社の体力からセキュリティの問題から現行極めて難しいと考える。しかし、短時間勤務制度や育児休暇等の対象となる子の年齢引き上げ等、制度改善については、引き続き、改善に向け取り組んでいく。

55歳からの係数は撤廃したものの、年令給の減額の問題が残っている。現状からすると、この減額が生活に響いてくる。昨今、同一労働同一賃金の流れになっており、安全かつ安心してお客様に乘っていただくためにも、社員に生活面の不安があることは業務にも集中できなくなることから、早急に

**野村 代議員
(自動車支部)**



対応するよう要請する。現在、4時間以上の連続運転をする場合、30分の休憩を取らなければならない決まりがあるが、改札時間と見なされている。改札時間も業務として取り扱うよう改善を要請する。現在、国などでも労働時間短縮の方向に向かっている。組合としても安全・安心運行のためにも引き続き、会社に訴えていただくよう要請する。

高松運転所の検修は若手社員が少なく技術継承を行ううえで課題があると感じている。現在、新卒社員を工場に配属させ、数年経験を積ませた後に現場に配属させているが、採用時点で現場配属となるよう改善を要請する。また、メンテナンスのローパー社員から技術習得を目的として、JRへの逆出向を希望している。聞いており、他箇所においては逆出向を実施している。高松運転所においても逆出向を実施するよう要請する。現在、高松運転所構内は研修センターに移転に向け工事中である。そのため、一部使用停止となった線路がある中、気動車の組成等により作業が増加し安全面で問題が発生している。今後、構内の配線等、変更があると思われる線路の電化を検討するよう要請する。

**北岡 特別代議員
(運転部会)**



車両検修の部外委託を実施してから10年が経過しようとしている。当初の目的であったグループ一体となった技術継承はできていないのか。現状は出向社員がそのまま残っており、プロパー社員が増加したとは思えない。定例作業以外が請け負えるようにするために、人材を確保する必要がある。技術系の仕事は経験も必要であり、計画的な採用を実施し技術継承を図るうえで、魅力ある賃金も必要であると考え、JR四国労組が介入できない部分もあると思うが、要員の確保と技術継承に向けての取り組みを要請する。

**松浦 代議員
(香川支部)**



自動車の支部組合員の賃金については、55歳以上の組合員だけでなく、全ての世代において改善するよう交渉に取り組みしてきた。引き続き、労働時間短縮も併せて、総合労働協約改訂交渉や春闘交渉において取り組んでいく。

嶋田 副委員長

新採用者の検修職場への配属は、多度津工場にて基礎知識を習得した後に現場に特化した業務を身に付けてもらうようになっているが、現行の育成方法に問題があるから改善を申し入れる。アメリカの課題やメリット・デメリットを教示していただきたい。逆出向については、他系統において実施している事例もあり、技術継承、技術向上のためにも有意義な意見として会社に対し申し入れていきたい。

ジェイアール四国バスにおいては、ハンドルを握っていない時間については、休憩等と見なされている。組合は、接客時間も業務であると考えており、引き続き、会社に改善を求めるとともに、JR連合自動車連絡会を通じて国土交通省への要請行動も展開していく。

眞鍋 書記長

今年、JR四国労組結成30年目ということで、次期定期大会に向けて、まずは各支部の代表者も含めて検討委員会を立ち上げたいと考えている。内容等については、委員会の中で議論していくが、皆様の記憶に残る記念事業ができるよう検討していきたいと考えている。

浦川 執行委員

現在、議員団会議に3名所属していただいているが、今後、組合員の中で議員を目指す方がいれば、組合としてもサポートしたいと考えている。

**眞砂 代議員
(愛媛支部)**



現在、松山駅管理管内の今治駅では、松山駅から恒常的に助働を行っているにも関わらず、要員不足により駅長自ら出札・改札業務を行っている状況である。新入社員が見習いを終え本務として業務できるようなれば、要員に多少のゆとりができるが、その後、若手社員が車掌研修に入ることとなり、また要員不足となってしまう。駅に配属されて1・2年で車掌になるというサイクルを見直さなければ、日々の業務の負担増加だけでなく、技術継承においても大きな不安がある。このような問題に対して、どのように考えているのか教示していただきたい。

現在、松山駅管理管内の今治駅では、松山駅から恒常的に助働を行っているにも関わらず、要員不足により駅長自ら出札・改札業務を行っている状況である。新入社員が見習いを終え本務として業務できるようなれば、要員に多少のゆとりができるが、その後、若手社員が車掌研修に入ることとなり、また要員不足となってしまう。駅に配属されて1・2年で車掌になるというサイクルを見直さなければ、日々の業務の負担増加だけでなく、技術継承においても大きな不安がある。このような問題に対して、どのように考えているのか教示していただきたい。

岩水 代議員 (徳島支部)



現在、徳島と高知の運表区間においては輸送指令長の配置がない。また、駅の輸送指令には現職数...

弓立 特別執行委員



昨年、専従指定された専従指定されたが、各支部青女役員は全てを本...

嶋田 副委員長

嶋田の若手社員の要員については、従前より訴えていることであり、若手リーダーの育成が必要で...

吉岡 代議員 (香川支部)



四国新幹線の導入について、他産別の一部から反対意見が出たと聞いた。税金は県民のために他の...

安岡 特別代議員 (営業部会)



各支部の出向組合員対話集会の参加状況を教えてください。エキスパート組合員の...

津野 代議員 (愛媛支部)

今春開において夏季手当を同時交渉したことに決した。一挙集中した交渉に臨み、会社とは内容...

宮地 代議員 (高知支部)



今回の参議院選挙から徳島と高知が初めて合区となった。1票の格差の問題により合区となったことは仕方ないと考える...

役員引き続きの協力を要請する。組合員への事前説明等は、現時点では考えていない。今後、分会において集会等を開催するなど...

橋 特別代議員 (徳島支部青女)



子育て支援について、現行、育児休業を1日で取得すれば昇給の所要期間が1年に満たないため昇給が1号俸カットとなってしまう。また、育児休業取得者数は女性に比べて男性が圧倒的に少ない状況であり、号俸カットがなければ利用したい男性もいると考える...

幸 執行委員

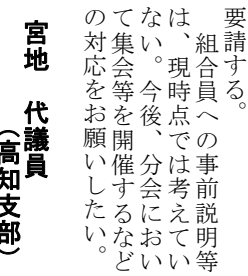
育児休業期間中も昇給の所要期間に含むべきと考える。従前より申し入れている。とりわけ短期(1ヵ月3ヵ月程度)の育児休業取得者に対する昇給の取り扱いは改善を強く訴え、交渉に臨んでいく。引き続き、子育て支援に対する制度改善が図られるよう取り組んでいく。

西岡 特別代議員 (関連部会)



議案書に関する事業収入の記載がない。鉄道施設

浦川 執行委員



車運行体系を見直すことによる影響度合いを調査していくとの回答を得ている。地元のお客様には不便をおかけしていることは十分理解しているが、須崎と窪川間については、ご利用の少ない区間であり、利用頻度の少ない時間帯の列車を間引いてお客様の動向やご利用実態を調査しているものとする。

河野 特別代議員 (工務部会) 工務系統の要員不足は新入社員の補充や出向者では対応しきれないが、将来的には有効であること

嶋田 副委員長 ダイヤ改正の経営協議会の中で、会社からは列

**塚原 特別代議員
(自動車支部青女)**



3人目以降の子の家族手当について、JR四国に続いてジェイアール四国バスにおいても改善が図れるよう取り組みを要請する。

ジェイアール四国バスにおける女性の今後の働き方について、今後の行事や研修等で複数の管理者より「予約センターを一本化する」「対面販売を減少させ主軸をインターネットに移行していく」との発言が多く聞かれる。

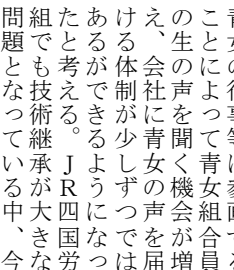
方針に全面的に反対する訳ではないが、具体的な内容やスケジュール等の説明がなく、その職場で働く組合員の不安を煽っているように感じる。また、昨年度あたりから女性社員に運行管理者の資格取得を奨励する動きも見られ、女性組合員から不安の声も聞かされている。組合として把握していることがあれば教えていただきたい。

**宮西 特別代議員
(高知支部青女)**



昨年11月から青女議長が専任指定されたことにより多くのことが変化したと感ずる。以前は、ニュースで得た情報を常任委員会等で話す程度だったが、議長から経営協議会や団体交渉の生の話を聞くことができ、身近に感じることが

**笠岡 代議員
(愛媛支部)**



今年度末で期限切れを迎える税制支援措置(三島・承継特例)の延長に向けて、愛媛支部でも意見書採択や署名活動など総力を挙げて取り組んでいく。特に署名活動については、前回を上回る数を集約できるよう取り組みたいと考えている。税制支援措置が継続されなかった場合、直接組合員の労働条件や生活に関わる問題となるので、引き続きの働きかけを要請する。

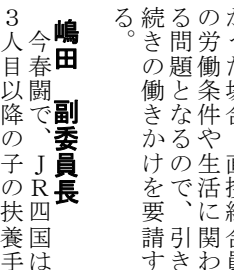
今年度末で期限切れを迎える税制支援措置(三島・承継特例)の延長に向けて、愛媛支部でも意見書採択や署名活動など総力を挙げて取り組んでいく。特に署名活動については、前回を上回る数を集約できるよう取り組みたいと考えている。税制支援措置が継続されなかった場合、直接組合員の労働条件や生活に関わる問題となるので、引き続きの働きかけを要請する。

幸 執行委員



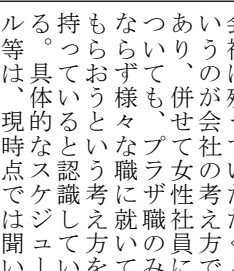
青女議長の専任化については、今後、収支を見極めつつ組織財政専門委員会等で議論・検討していきたい。

眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

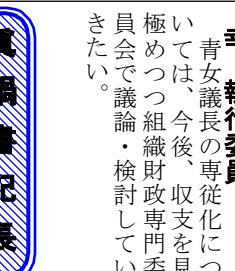
眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

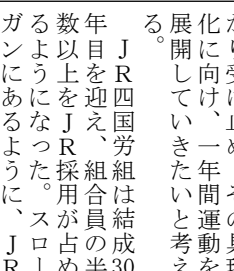
署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

幸 執行委員



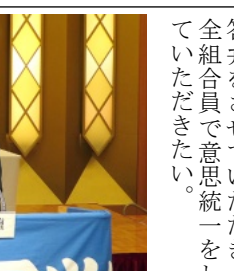
青女議長の専任化については、今後、収支を見極めつつ組織財政専門委員会等で議論・検討していきたい。

眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

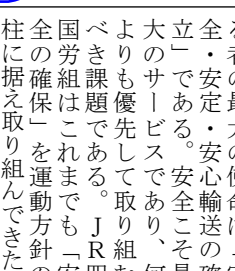
眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

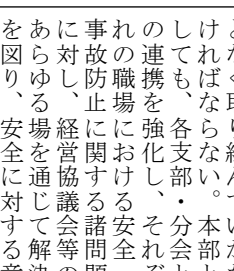
署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

幸 執行委員



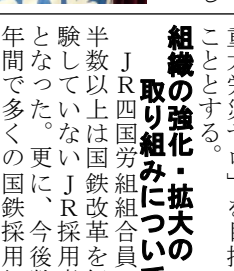
青女議長の専任化については、今後、収支を見極めつつ組織財政専門委員会等で議論・検討していきたい。

眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

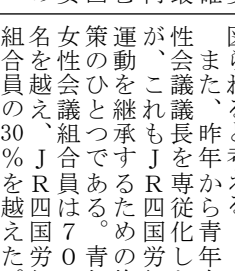
眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

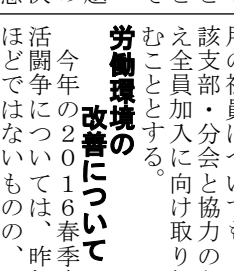
署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

幸 執行委員



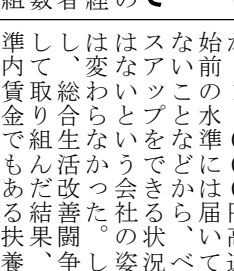
青女議長の専任化については、今後、収支を見極めつつ組織財政専門委員会等で議論・検討していきたい。

眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

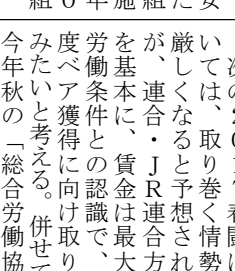
眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

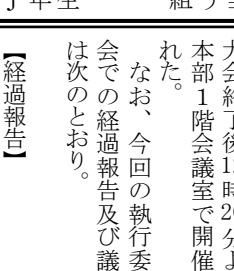
署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

幸 執行委員



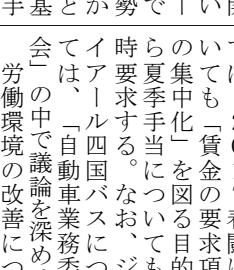
青女議長の専任化については、今後、収支を見極めつつ組織財政専門委員会等で議論・検討していきたい。

眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

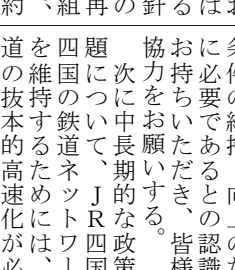
眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

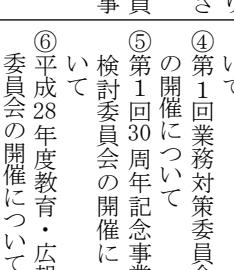
署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

幸 執行委員



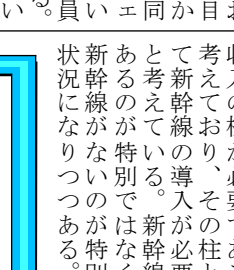
青女議長の専任化については、今後、収支を見極めつつ組織財政専門委員会等で議論・検討していきたい。

眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

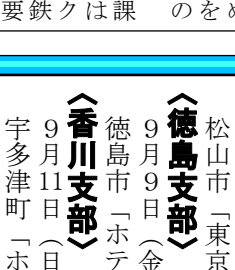
眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

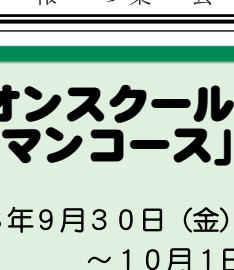
署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

幸 執行委員



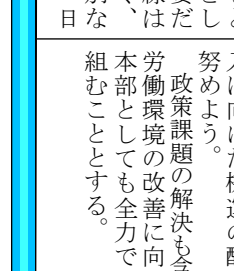
青女議長の専任化については、今後、収支を見極めつつ組織財政専門委員会等で議論・検討していきたい。

眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

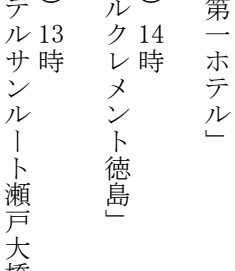
眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

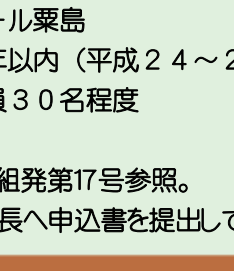
署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

幸 執行委員



青女議長の専任化については、今後、収支を見極めつつ組織財政専門委員会等で議論・検討していきたい。

眞鍋 書記長



署名活動について、力強い言葉をいただいた。必要があれば説明を行い、たいし思うし、全組合員でしっかりと取り組みたいと考える。

【各支部定期大会開催日程】

- 〔高知支部〕 8月27日(土) 13時 高知市「高知城ホール」
- 〔本社支部〕 9月2日(金) 18時30分 高松市「高松東急REIホテル」
- 〔愛媛支部〕 9月6日(火) 14時 松山市「東京第一ホテル」
- 〔徳島支部〕 9月9日(金) 14時 徳島市「ホテルクレメント徳島」
- 〔香川支部〕 9月11日(日) 13時 宇多津町「ホテルサンルート瀬戸大橋」
- 〔自動車支部〕 9月12日(月) 14時30分 宇多津町「ホテルサンルート瀬戸大橋」

第1回本部執行委員会開催

- ① 第1回本部執行委員会開催は、7月12日(火)定期大会終了後12時20分より本部1階会議室で開催された。
- ② なお、今回の執行委員会での経過報告及び議事は次のとおり。
- 〔経過報告〕
- ① JR四国労組議員団会議第25回総会
- ② JR四国労組第35回定期大会
- 〔議事〕
- ③ 平成28年度任務分担について
- ④ 平成28年度各種委員会等名簿について
- ⑤ 年間スケジュールについて
- ⑥ 第1回業務対策委員会の開催について
- ⑦ 第1回30周年記念事業検討委員会の開催について
- ⑧ 平成28年度教育・広報委員会の開催について
- ⑨ 平成28年度サークル協議会運営委員会の開催について
- ⑩ 部会三役会議の開催について
- ⑪ 次期(第2回)執行委員会の開催について
- ⑫ その他

ユニオンスクール「フレッシュマンコース」開催!

日時:平成28年9月30日(金) ~ 10月1日(土)

場所:ル・ポール栗島

募集人員:入社5年以内(平成24~28年入社)の組合員30名程度

※詳しくはJR四国労組第17号参照。希望者は所属分会長へ申込書を提出して下さい。